



# イノシシしか食べられません！

－コンクリートブロックを利用した  
豚熱経口ワクチンの摂取方法を開発－

## 開発の背景・ニーズ

愛知県では、豚熱対策としてイノシシが食べるタイプのワクチン（経口ワクチン）を散布し、感染拡大防止に努めています。しかし、ワクチンはカラスやタヌキ等、他の鳥獣に食べられてしまい、イノシシに十分に食べさせることができている状況であり、イノシシのみにワクチンを食べさせる技術が求められています。そこで、イノシシの能力を利用したワクチン摂取方法の開発に取り組みました。

## 成果の内容

成獣のイノシシは、20kg程度の物体を鼻を使って動かすことができますが、イノシシ以外の鳥獣は、重い物体を動かすことは殆どできません。この能力を利用して、イノシシにコンクリートブロック\*（以下ブロック）を倒させてワクチンを食べさせる方法を開発しました。

\*ブロックは、日本工業規格により規格が統一されており、入手が容易で地域を限定することなく使用できます。

餌とワクチンが入っているブロックを設置したところ、イノシシは容易にブロックを倒し、ワクチンを食べましたが、ニホンジカ、タヌキ、カラスはブロックを倒すことができず、ワクチンを食べることはできませんでした。ブロックを使った場合、イノシシがワクチンを食べた割合は100%、ブロックを使わなかった場合、平均77%でした。

方法	結果①イノシシ	結果②その他鳥獣
 ①ブロックを立てる  ②ワクチンと餌を中央の穴に入れる  ③土をかぶせて完成	 ブロックを倒し・・・   ワクチンを食べた	 ニホンジカ  タヌキ  カラス ワクチンを食べるできなかった

## 愛知県農業への貢献

- ワクチンをイノシシに確実に食べさせることで、豚熱の発生リスクを抑制することができます。
- 特に難しい技術は必要ないため、県内のみならず、豚熱の発生リスクのある県で活用することができます。